

■村野藤吾 建築家。商業建築への理解と独自の形式美をみせ、その風貌もあわせ、“最も建築家らしい人”と言われた。

むらのとうこ

足尾鉋毒始・1891＝ 佐賀県唐津で生まれる。

日清戦争始・1894＝ 3歳：

ピアノ/国産化・1900＝ 9歳：

日比谷公園・1903＝12歳：福岡県八幡に移り，

日露戦争終・1905＝14歳：

伊藤博文暗殺1909＝18歳：

明治天皇没・1912＝21歳： 兵役で2年間入営後，

大正政変・・1913＝22歳： 早稲田大学電気学科に入学，

21ヶ条要求・1915＝24歳： 建築学科に転科し，

本格政党内閣1918＝27歳： 卒業して，大阪の{渡辺節建築事務所}に入所，

大暴落・・・1920＝29歳： 所長の命でアメリカに出張。

原敬首相暗殺1921＝30歳：

金融恐慌・・1927＝36歳： 14年間主任設計技師として実務に従事し，

海軍軍縮条約1930＝39歳： 再び，欧米に留学ののち，

満州事変・・1931＝40歳：

国際連盟脱退1933＝42歳： *高橋貞太郎の設計で日本橋高島屋が完成した年，独立して{村野建築事務所}を設立，

帝人疑獄事件1934＝43歳： 「森五ビル」設計でデビュー，

芥川直木賞始1935＝44歳： *ドイツ政府から赤十字名誉賞を，日本政府から雇用許可を受ける一方，「大阪十合百貨店」で商業建築への理解と独自の形式美を見せ，

二二六事件・1936＝45歳：

日中戦争始・1937＝46歳： 「宇部市民館」で公共的建築でモニュメンタルな表現を完成した。

日米開戦・・1941＝50歳：

敗戦・・・1945＝54歳：

三大事件・・1949＝58歳： 「{村野・森建築事務所}」に改組，

独立回復・・1951＝60歳：

メーデー事件・1952＝61歳： 日本橋高島屋最初の増改築に指名され，

TV放送始・・1953＝62歳： 建築研究のため欧米を外遊。*「広島平和記念カトリック聖堂」が完成し，日本芸術院賞・大阪府芸術賞。

自衛隊発足・1954＝63歳： 「名古屋丸栄百貨店」で日本建築学会賞を受賞，

55年体制始・1955＝64歳： 芸術院会員，

国連加盟・・1956＝65歳： 「平和記念聖堂」で再び日本建築学会賞を受賞した。

なべ底不況・1957＝66歳： 「読売会館・東京そごう百貨店」が完成する一方，建築研究のため北南米を外遊，

イスタトラマ・1958＝67歳： 建築行政への貢献で大阪府知事表彰・建設大臣表彰の上，藍綬褒章を受章，

美智子妃・・1959＝68歳： 「横浜市庁舎」が完成，

安保闘争・・1960＝69歳： 再びアメリカを外遊後，

全国総合計画1962＝71歳： 「{日本建築家協会}」会長に就任する一方，「輸出繊維会館」でBCS賞を受賞，

TV宇宙中継始1963＝72歳： 王立イギリス建築家協会名誉会員となり，「早稲田大学文学部」で建築年鑑賞を受賞する一方，「日本生命日比谷ビル」が完成して話題となり，

東京リトル・1964＝73歳： 「尼崎市庁舎」でBCS賞を，

大学紛争始・1965＝74歳： 「日生ビル」で日本建築学会賞を受賞。日本橋高島屋4度目の増改築も担当しても，のちに重要文化財になる価値を損ねないどころか向上させるほどの力量も見せている。

美濃部都知事1967＝76歳： 文化勲章を受章した。

その後、長寿を保つだけでなく、ますます磨きがかかって傑作を創り続け，

大阪万博・・1970＝79歳： 「兵庫県立近代美術館」。パチカンから大聖グレゴリウス騎士章。アメリカ建築家協会名誉会員となり，

日中国交回復1972＝81歳： 「箱根樹木園休息所」で日本建築学会大賞を受賞，

角栄金脈辞任1974＝83歳： 「赤坂迎賓館」で皇室より銀盃を下賜されるとともに，総理大臣・建設大臣感謝状を受け，

田中角栄逮捕1976＝85歳： 「川鉄西山記念館」でBCS賞，

JAL/イッパク・1977＝86歳： 「小山敬三美術館」で毎日芸術賞を受賞，

革新大敗北・1979＝88歳： 「ハケ岳美術館」，

中曽根内閣・1982＝91歳： 「新高輪プリンスホテル」(BCS賞)などの話題作を設計して，

・・・・1984＝93歳： 没した。同年「村野藤吾作品集」全2巻。

別冊新建築「日本現代建築家シリーズ9」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，